

かかりつけ医として知っておきたい 脳卒中の後遺症治療 Webinar

日時：2017年 5月25日（木） 19:00～20:00

あきらめない！ 脳卒中の後遺症治療 ～9,000回の治療経験より～

演者



安部 雅博 先生

東京慈恵会医科大学附属病院 副院長
東京慈恵会医科大学
リハビリテーション医学講座 主任教授

演者からのメッセージ

脳卒中を発症した方の中には、命は助かったものの、後遺症のために思うように体が動かせなくなり、従来の生活が著しく制限されてしまう患者さんが増えています。

世界の教科書では、脳卒中の発症から4～6か月を過ぎると、マヒといった運動障害はよくなりませんとされていました。だから、医療の枠でなく介護の枠で、年齢と共に落ちていく機能をできるだけ維持していく。これは理にかなった考え方のような気がします。しかし、その根底には、もう改善はしないという考えが存在します。

近年、脳卒中の後遺症治療の選択肢も広がり、脳卒中による運動障害が4～6か月を過ぎるとよくなりませんという世界の常識は崩れてきています。

本講演では、かかりつけ医、一般医療者の方々に対して、9,000回の治療経験から、脳卒中の後遺症の問題点や治療の実際について、動画を交えわかりやすく情報を提供する予定です。



主催：グラクソ・スミスクライン株式会社

Webinar詳細情報ページURL

<https://www.healthgsk.jp/seminar-info/webinar/0525SPA.html>



スマートフォンからであれば左のQR Codeを読み取ると
Webinarの詳細情報ページにアクセスできます

- 1 開催時間になりましたら上記URLからWebinarの詳細情報ページにアクセスしてください
- 2 医療関係者であることの確認画面が表示されますので医療関係者であれば“はい”をご選択ください



- 3 ご予約は不要ですので開催時間になりましたら
ページ下部にある“視聴する”ボタンから視聴ページにてご視聴ください

かかりつけ医として知っておきたい 脳卒中の後遺症治療 Webinar

日時 : 2017年5月25日 (木)
19:00~20:00

演題 : 『あきらめない！ 脳卒中の後遺症治療』
～9,000回の治療経験より～

演者 : 安保 雅博先生
東京慈恵会医科大学附属病院 副院長
東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座 主任教授

日時 : 2017年 5月25日 (木) 19:00~20:00

あきらめない！
脳卒中の後遺症治療
～9,000回の治療経験より～

講師
安保 雅博 先生
東京慈恵会医科大学附属病院 副院長
リハビリテーション医学講座 主任教授

講師プロフィール
脳卒中を専門とする医師として、脳卒中の診断、治療のエキスパートとして、
幅広い分野から、脳卒中の診断・治療のエキスパートとして活躍されています。
脳卒中の診断・治療は、脳卒中の発症から回復までのプロセスを、脳卒中の診断・治療の
エキスパートとして、脳卒中の診断・治療のエキスパートとして活躍されています。
脳卒中の診断・治療は、脳卒中の発症から回復までのプロセスを、脳卒中の診断・治療の
エキスパートとして、脳卒中の診断・治療のエキスパートとして活躍されています。
脳卒中の診断・治療は、脳卒中の発症から回復までのプロセスを、脳卒中の診断・治療の
エキスパートとして、脳卒中の診断・治療のエキスパートとして活躍されています。

主催 : アクアノース株式会社

視聴する